

2006年2月20日

## 国内所有山林全山での森林認証取得 緑の循環森林認証（SGEC）を取得へ

住友林業株式会社（社長：矢野 龍 本社：東京都千代田区丸の内1丁目8番1号）は、平成18年2月20日付、日本独自の森林認証である「緑の循環」森林認証（SGEC：Sustainable Green Ecosystem Council）を国土の1000分の1の広さに相当する40,497haの国内所有山林全山での取得に向け、その審査業務について社団法人日本森林技術協会（理事長：根橋達三、東京都千代田区六番町7番地）と業務委託契約を締結しました。これにより約半年間の審査期間を経て、本年9月には認証を取得する予定です。

当社の企業イメージは木造住宅メーカーというのが一般的ですが、「林業」という社名のとおり、その歴史は300余年前の1691年（元禄4年）、住友家が四国に開鉱した別子銅山事業に必要な木材を調達する山林事業に端を発します。「木を植え、育て、有効に活用し、また植える」山林事業は本質的にサステナブル（循環型）な事業であり、その発展は自然環境保全の両立が前提となることから「環境共生型企业」のパイオニアであると自負しております。

林業会社では最大規模の国内社有林面積を有する当社が、今回森林認証を取得し、「小面積皆伐」を再導入することにより自社山林事業の活性化はもちろんのこと、ひいては日本の国内林業の経済的再生、山村に関わる地域社会の活性化や森林整備が正常化に向かう一歩となること、また国内の木々が活性化することで、地球温暖化の原因となっているCO2の吸収が促進されることにも期待しています。経済面・環境面・社会面のそれぞれの効果が、国産材の活用向上によって好循環するための基盤づくりの一助となれば幸いです。

今後も当社グループは地球上で唯一、再生可能な天然資源である「木」にこだわりながら、総合住生活関連事業を通じて、サステナブルな循環型社会の構築に貢献してまいります。

### 《SGEC認証取得理由》

#### ■ 森林経営の施策方針を変更

過去15年間、当社の国内全山の施策方針として「非皆伐」を導入したことにより、スギ・ヒノキを中心に資源量が増大したこと、また林令（木の年齢）構成が高齢化し質の高い木材の収穫期を迎えている。これを機に山林事業の活性化をはかるべく、平成19年3月期より施策方針として「小面積皆伐」の導入を決定。これにより現在実施しているISO14001による森林の環境保全システム評価に加え、これまでどおり環境に配慮したサステナブル（持続可能）な森林経営に変わりがないことを証明するため、森林管理パフォーマンスを実証する森林認証による評価を加え、一般に開示をおこなっていくこととした。

日本国内では森林認証としてFSCとSGECの2つの認証制度が一般的であるが、今回はその主旨からも日本の気候・風土などの独自性を考慮したSGECを選択した。

※SGEC：「緑の循環」認証会議。2003年に設立された日本独自の森林認証制度。森林が適正に管理されていることを第三者の立場で証明する制度。

※FSC：「森林管理協議会」Forest Stewardship Council。世界規模での森林環境の破壊および劣化に対応する適切な森林管理を認証する制度。環境団体、先住民団体、林業者、地域林業組合、木材取引企業、林産物認証機関などにより1993年設立。森林認証のほか、生産・加工・流通管理の認証（CoC：Chain of Custody）を持ち、ラベリングを行う。

#### ■ 国産材の積極活用

わが国では昭和30年以降、増大する木材需要に應えるため大規模な植林を進めた結果、国土のおよそ70%以上を占める全森林面積の40%強がスギやヒノキ等の「人工林」へと変化。その後、輸入材の安定供給力や価格競争力により、国内林業は不振となった。現在、間伐などの手入れがなされない森林が増加し、日本の森林は荒廃が進んでいる。

これまでも日本の森林健全化、環境保全への貢献は創業からの当社の社会的使命でもあり、独自の技術力と供給体制を生かしながら、国産材製品の開発・提供に積極的に取り組んできた。具体的には昨年10月に発表した住友林業の家「MyForest」では主要構造材の5割以上でヒノキを中心とした国産材を採用している。更なる使用比率を高める上で、自社社有林材の積極活用をはかり、森林の健全化、環境保全に貢献していく。

※林野庁が平成17年度より開始した国産材積極利用の普及啓発活動である「木づかい運動」において、当社の実績・様々なPR活動が評価され農林水産大臣より感謝状を授与されております。

《認証取得予定の山林》

- 北海道・紋別 15,314 ha (カラマツ・トドマツ・エゾマツ・ミズナラ・イタヤカエデ他)
- 和歌山・小川 2,260 ha (スギ・ヒノキ他。水源の森百選にも選定)
- 四国・新居浜 14,709 ha (ヒノキ・スギ・モミ・ツガ他)
- 九州・日向 8,214 ha (スギ・ヒノキ他)

※当社社有林は年間約 23 万トンもの CO2 を吸収。これは当社グループが国内事業活動にともなって排出する CO2 量の約2.5倍に相当しています。(2004年度)

以上

＜本資料に関するお問い合わせは下記にお願い致します＞

住友林業株式会社

コーポレート・コミュニケーション室 佐野

TEL：03-3214-2270